

平成 25 年度 地域密着型金融の取り組み状況について

当金庫は、中小企業経営力強化支援法の認定支援機関として、中小企業等のみなさまがそのライフステージに応じて抱えておられる経営課題に、きめ細やかに対応できる態勢を整備していく方針です。経営支援が必要な場合には、経営相談室を中心に本部および営業店が一体となり、外部専門家（コンサルタント等）や外部機関（中小企業再生支援協議会等）との連携を図りつつ、みなさまとともに経営課題の解決に取り組んでまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経営改善支援取組先数と債務者区分ランクアップ実績

営業店の経営サポート担当者と本部担当者が一体となってお取引先の経営改善計画書や資金繰りアドバイス等経営改善指導に取り組みました。

平成 25 年度

(単位: 先数)

(単位: %)

	期初 債務者数 A	うち			経営改善支援取 組み率 / A	ランクアップ率 /	再生計画 策定率 /
		経営改善支援取 組み先数	のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数	のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先数			
正常先	9,882	2	/	1	0.0%	/	100.0%
要注意先以下	1,657	132	0	124	8.0%	0.0%	84.1%
合 計	11,539	134	0	125	1.2%	0.0%	84.3%

注) 期初債務者数及び債務者区分の基準日は平成 25 年 4 月当初時点です。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めていません。
 ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者は に含まれるもの に含めていません。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・保証に過度に依存しない融資等への取り組み

中小企業信用リスクデータベース(CRD)や金庫独自のスコアリングを活用した商品「スーパーアシスト、農業者支援ローン」の取扱いを行っています。特に「スーパーアシスト」は、決算書に表れない技術力や販売力、経営者の資質など経営実態をきめ細かく目利き検証し、定性要因に踏み込んだ与信判断で成長企業への資金供給を図るものです。

無担保スコアリング商品取組実績

	25年度取組実績		25年度末残高	
	件数	金額	件数	金額
スーパーアシスト	292	1,585,830	286	1,465,388
農業者支援ローン	15	31,400	74	87,969
スピードローン	45	85,750	336	361,581
元気回復宣言	131	539,770	598	1,485,012
きのくにベストパートナー3000	59	450,314	162	875,266
フロンティア	11	47,000	135	466,431
合計	553	2,740,064	1,591	4,741,647

平成25年9月1日より、「スピードローン、元気回復宣言」、ベストパートナー3000、フロンティア」の4商品を一元化し、「スーパーアシスト」の取扱いを開始しました。

3 . 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ビジネスマッチング

お取引先の販路開拓を支援するため、ビジネスマッチングや物産展・商談会など各種情報提供に努めています。東京ビジネス・サミットには毎年お取引先が出展し（25年度6社）、県外の信用金庫が行っている物産展への参加も始めました（東京・大阪の各信用金庫へ6社出店）。

食の個別商談会の開催

26年2月、大阪・奈良・和歌山3府県内の信用金庫（12金庫）が合同して初めて「食の個別商談会」を開催し、当金庫より9社のお取引先が参加しました。当日は大手百貨店やスーパー、専門店など19社からバイヤーが集まり活況な商談会となりました。

経営支援セミナーの開催

昨年度に引き続き「若手経営者育成講座」を開講するとともに、お取引先の入社後間もない社員の方々を対象に、社会人としての基本とビジネスにおける考え方を学んでいただくため、新たに「新入・若手社員向け研修会」を開催しました。

今後ともお取引先の経営支援・販路開拓支援に向けて、各種物産展・商談会の情報発信とともに、経営支援セミナーの開催に取り組んでいきます。